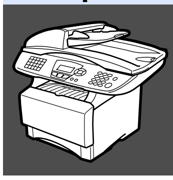
かんたん設置ガイド　CP-B300F

CASIO

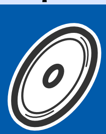
このたびは、当社の商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本機を使用するには、本機の設定を行い、お使いのパソコンにドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。
正しい設定とインストールのために、この「かんたん設置ガイド」を必ずお読みください。

Step 1

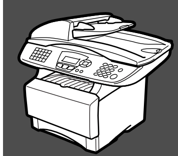


本機の準備を行います

Step 2



パソコンにドライバとソフトウェアをインストールします



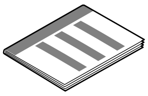
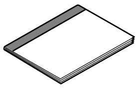
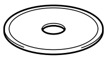
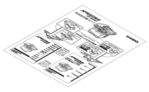
準備完了！

本書はなくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

■商品を確認します

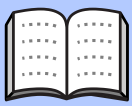
取扱説明書の構成

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

かんたん設置ガイド（本書） 	**必ず本書からお読みください。** 本機をお使いいただくための準備について記載しています。
取扱説明書 （ファクス & コピー編） 	**ファクス、コピー、本機のお手入れ、困ったとき、などについて記載しています。**
CD-ROM 	**「PDF マニュアル」が付属の CD-ROM に収録されています。** プリンタ、スキャナ、PC-FAX など、パソコンと接続して使う機能や、LAN I/F ボード（CP-LA300）を装着した場合のネットワークプリンタ等として使う機能について説明しています。
取扱説明書ガイド 	**取扱説明書の見方について説明しています。**

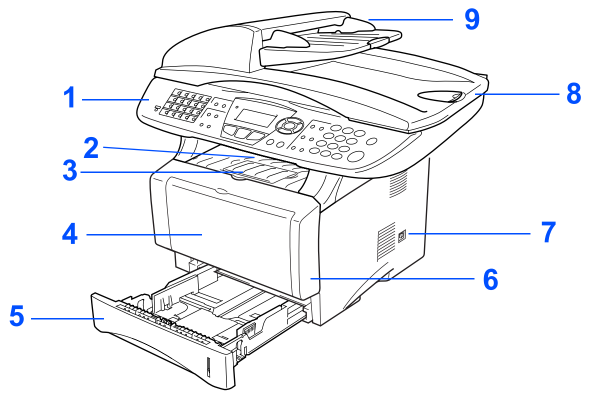
- ■ 本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づく、クラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- ■ 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買い求め販売店までご連絡ください。
- ■ お客様または第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ■ 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- ■ 電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください（取扱説明書（ファクス & コピー編）「電話帳リストを印刷する」、「メモリー受信したファクスメッセージを印刷する」）。本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本機のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書で使用されている記号

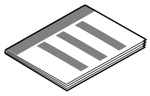
 警告	 注意	 補足	 取説参照
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。	本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。	補足、参考内容を記載しています。	取扱説明書（ファクス & コピー編）を参照する内容を示しています。

付属品を確認します

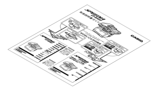
箱の中に次の物が揃っているか確かめてください。万一、足りないものがあったり取扱説明書に落丁があったときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。



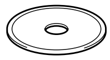
1. 操作パネル
2. 排紙トレイ
3. サブトレイ
4. 多目的トレイ
5. 記録紙トレイ
6. フロントカバー
7. 電源スイッチ
8. 原稿台カバー
9. ADF（自動原稿送り



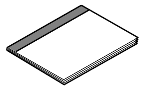
かんたん設置ガイド
（本書）



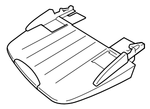
取扱説明書ガイド



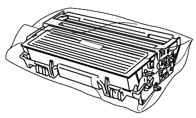
CD-ROM



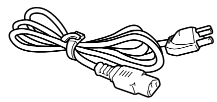
取扱説明書
（ファクス & コピー編）



原稿ホルダー



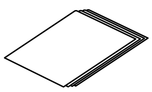
ドラムユニット
（トナーカートリッジ入り）



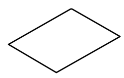
電源コード



電話機コード



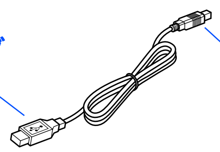
A4 記録紙



保証書請求用ハガキ

本機とパソコンをつなぐインターフェースケーブルは同梱されておりません。下記のいずれかのケーブルをご購入ください。

■ USB ケーブル
USB ケーブルは、USB1.1 または USB2.0 ツイストペア、シールドタイプのケーブルをご使用ください。
お使いのパソコンが Hi-Speed USB 2.0 に対応している場合は、Hi-Speed USB 2.0 の動作が保証されたケーブルをお使いください。（Hi-Speed USB 2.0 の動作が保証されたケーブルには認証ロゴがはいっています）
弊社オプション品の USB ケーブル CP-CAUSB のご使用を推奨します。

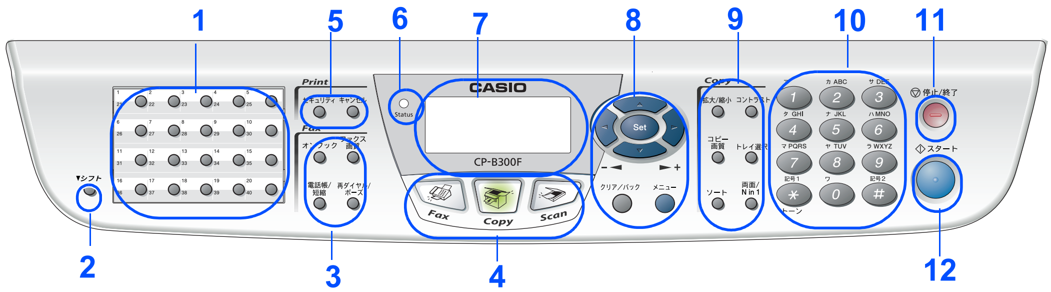


■ プリンタケーブル
プリンタケーブルは、IEEE1284 に準拠した双方向通信対応のケーブルをご使用ください。弊社オプション品のプリンタケーブル CP-CA554（DOS/V パソコン用）のご使用を推奨します。

■ ネットワークケーブルは 10Base-T または 100Base-TX のストレートケーブルをご使用ください。（オプションの CP-LA300 を取り付けた場合のみ）

■商品を確認します

操作パネル

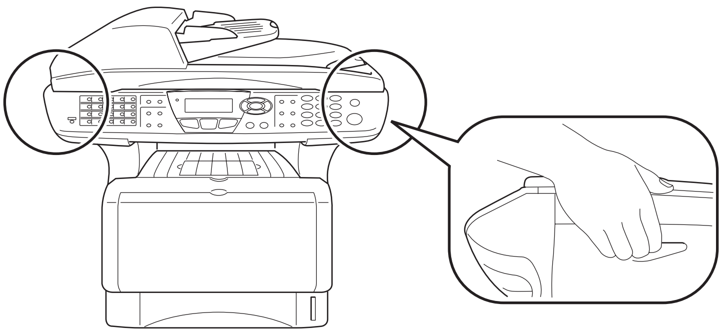


1. ワンタッチボタン	5. 印刷機能ボタン	9. コピー機能ボタン
2. シフトボタン	6. ステータス（Status）ランプ	10. ダイヤルボタン
3. ファクス機能ボタン	7. 液晶ディスプレイ	11. 停止 / 終了ボタン
4. モード選択ボタン	8. ナビゲーションキー	12. スタートボタン

詳しくは取扱説明書（ファクス & コピー編）「1 章　各部の名称とはたらき」を参照してください。

警告

■ 本機を持ち運ぶときは、両サイドの下の図に示す場所を持ってください。
本機の底面を持たないでください。



目　次

Step 1　本機の準備を行います

Step 2　ドライバとソフトウェアをインストールします

Windows®

■ネットワーク管理者の方へ

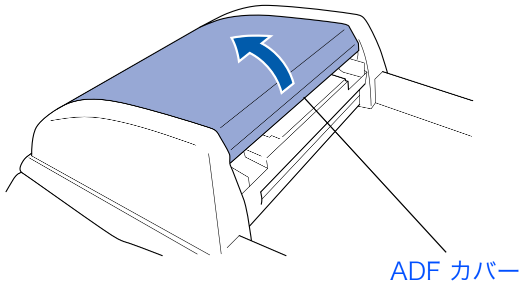
Step 1 本機の準備を行います

1 原稿ホルダーを取り付けます

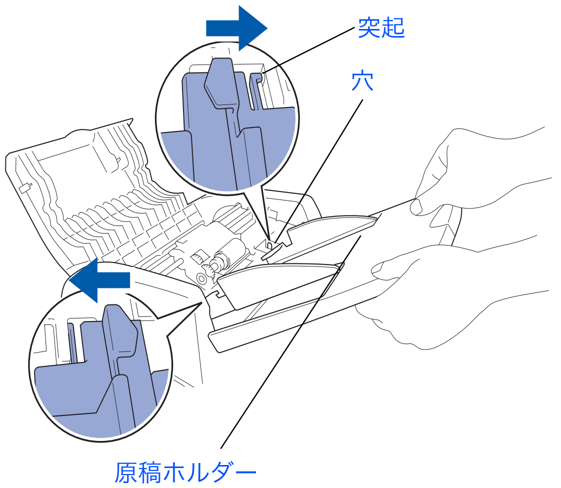
注意

■ この時点では、まだパラレルケーブルや USB ケーブルは接続しないでください。

❶ ADF カバーを開きます。



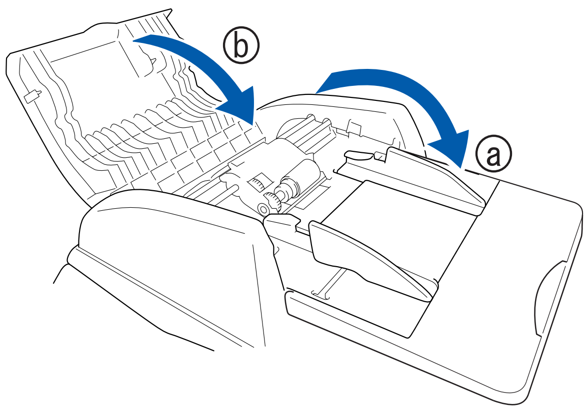
❷ まず、片方の ADF の穴に原稿ホルダーの突起をあわせてはめ込みます。片方がはまったらもう片方も同じようにはめ込みます。



❸

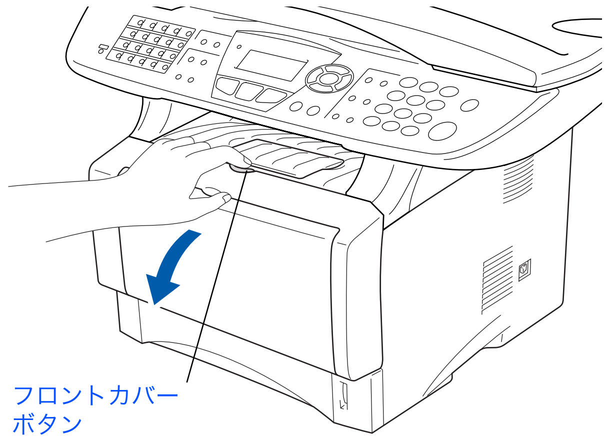
ⓐ 原稿ホルダーを矢印の方向に押してはめ込みます。

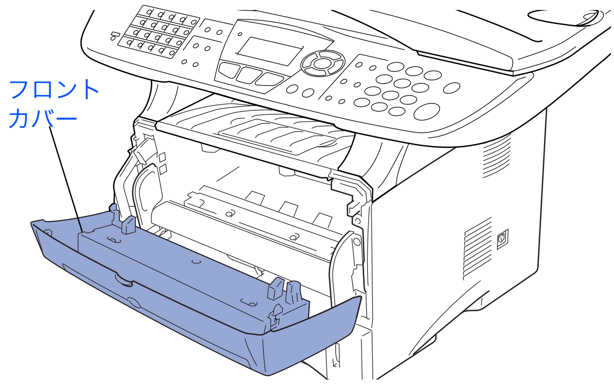
ⓑ ADF カバーを閉めます。



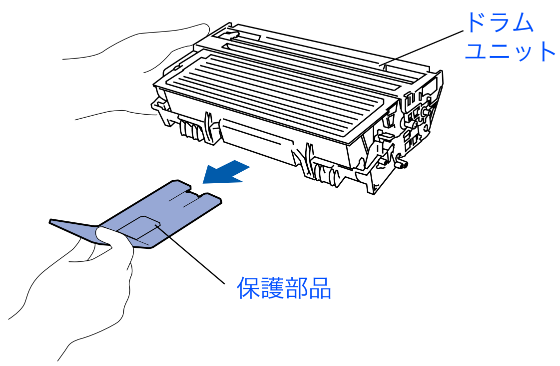
2 ドラムユニットを取り付けます

❶ フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開きます。

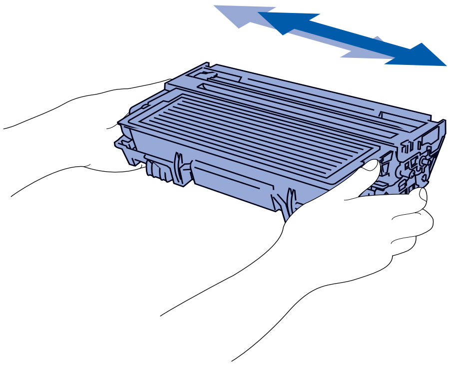




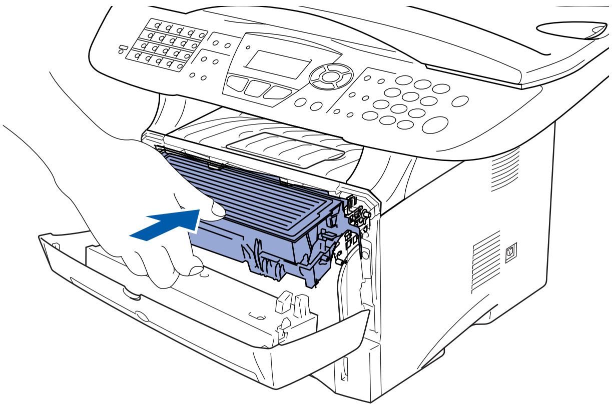
❷ ドラムユニットを袋から取り出します。保護部品を取りのぞきます。



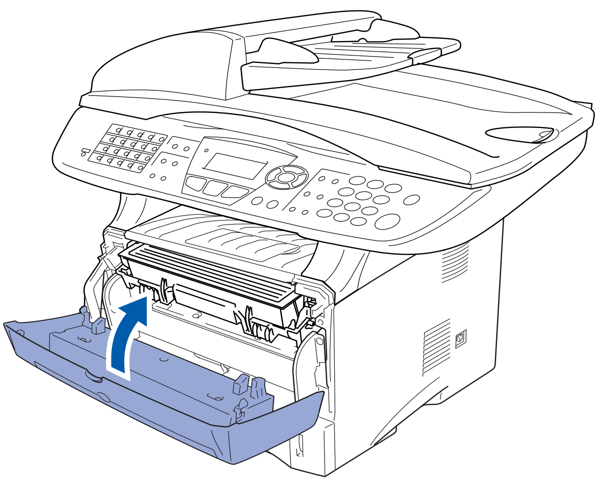
3 トナーがカートリッジ内で均一に分散するように、左右に軽く 5、6 回振ります。



4 ドラムユニットのハンドル部を持ち、本機にはめ込みます。

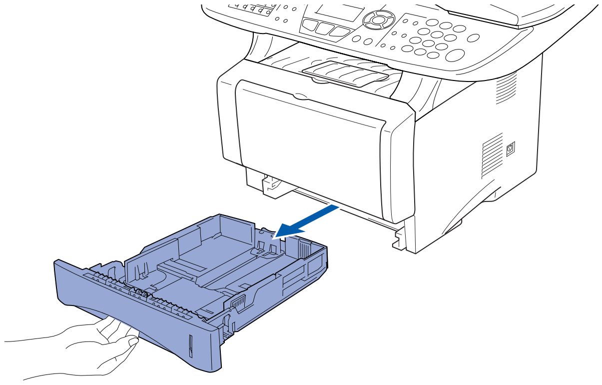


5 フロントカバーを閉じます。

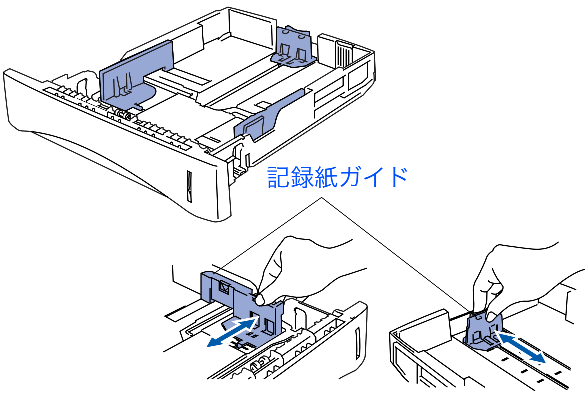


3 記録紙をセットします

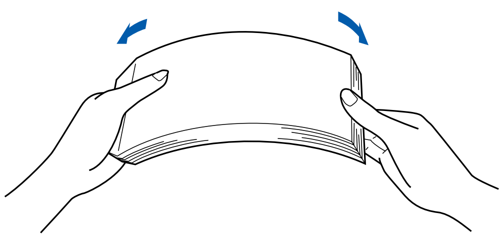
1 記録紙トレイを引き出します。



2 記録紙ガイドのレバーを押しながらスライドさせ、ご使用になる記録紙のサイズに合わせます。
このとき記録紙ガイドのツメがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。

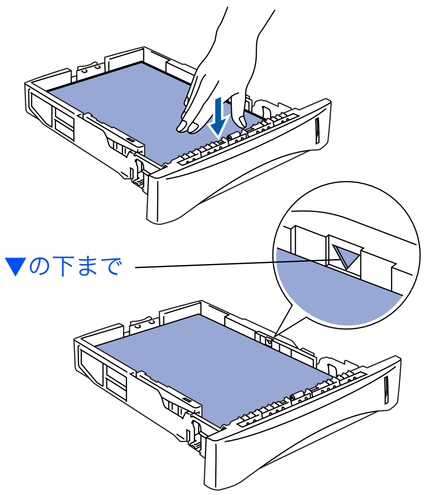


3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばきます。

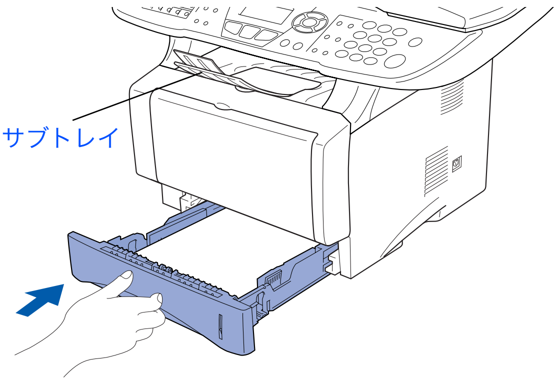


次ページへ続く

④ 印字面を下にして記録紙トレイに入れます。
記録紙がカセットの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。



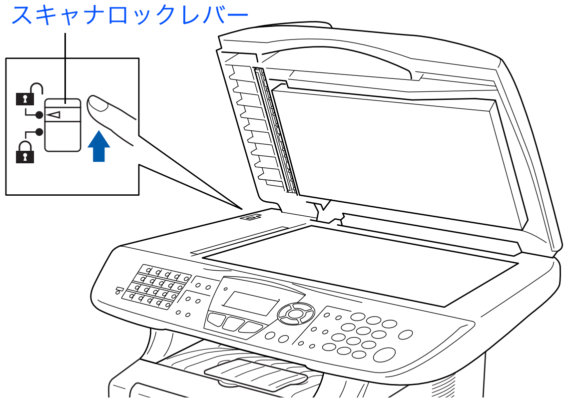
⑤ 記録紙トレイを本機に戻し、サブトレイを引き出します。



A4(64g/㎡の普通紙)で約 250 枚までセットできます。
セットできる記録紙のサイズと枚数については、取扱説明書（ファクス & コピー編）「2 章 ご使用前の準備」『記録紙について』を参照してください。

4 スキャナロックを解除します

① スキャナロックレバーを奥に押して、スキャナロックを解除します。

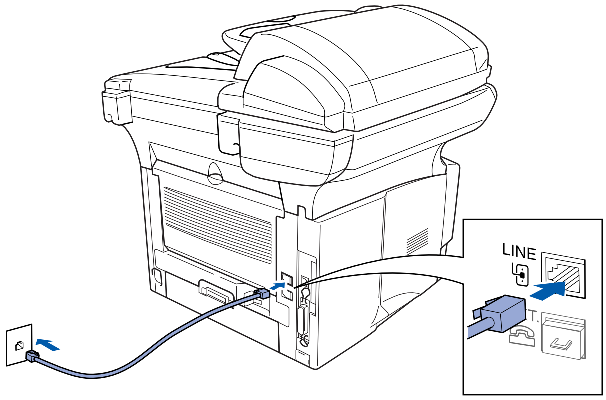


5 電話機コードを接続します

注意

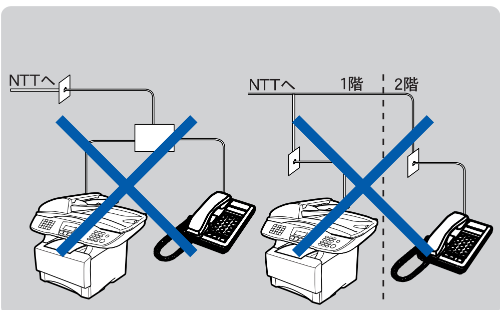
■ この時点では、まだパラレルケーブルや USB ケーブルは接続しないでください。

❶ 付属の電話機コードを本機の背面の「LINE」端子と壁側の電話機コンセントに差し込みます。

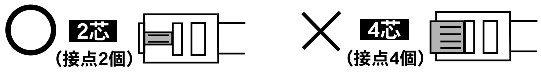


注意

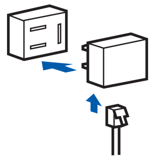
■ ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
- ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーがおきることがあります。
- 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないときがあります。
- 並列電話機から本機への転送はできません。
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
- パソコンを接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。



■ 付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6 極 2 芯の電話機コードをお使いください。6 極 4 芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。



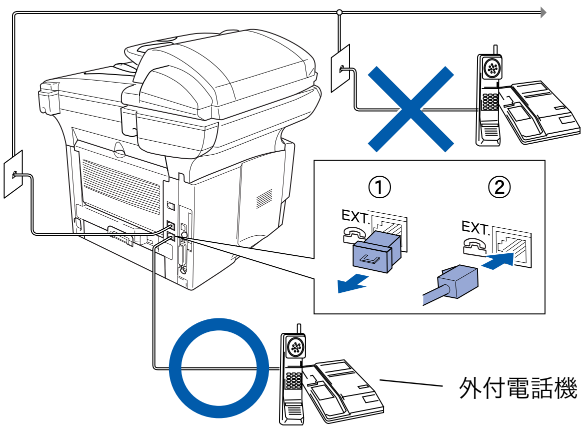
■ 3 ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。



■ 直接配線式の場合は、別途工事が必要です。最寄りの NTT 窓口（116 番）にお問い合わせください。



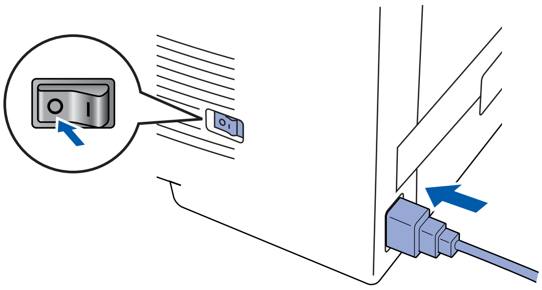
今お使いの電話機を本機と接続してご使用になる場合は、キャップをはずしてから本機の側面の外付電話端子（EXT.）に接続します。



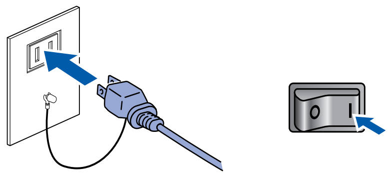
- 取扱説明書では、本機に接続した電話機を外付電話機と呼んでいます。

6 電源コードを接続します

1 電源スイッチが OFF になっていることを確認します。
電源コードを本機に接続します。



2 電源プラグをコンセントに差し込みます。
電源スイッチを ON にします。



■ ディスプレイに「ｽｷｬﾅｰ ﾛｯｸ ｶｸﾆﾝ」と表示されたらスキャナロックを解除して（8 ページ参照）停止／終了 を押してください。

注意

■ 電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。
また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。発熱や火災の原因となります。

■ 感電防止のため必ず保護接地を行ってください。電源コンセントの保護接地端子にアース線を確実に接続してください。

■ アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り付けてください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから取り外してください。

注意

■ 右記のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。
正しく接続しないまま 10 分以上放置すると、回線種別はプッシュ回線に設定されます。電話機コードを接続しない場合は 停止／終了 を押してください。

2004/02/21 15:25
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ﾃﾞﾝﾜｷｺｰﾄﾞ ｦｾﾂｿﾞｸｼﾃｸ

■ 自動で回線種別が設定できなかったときは、2 秒間右記のメッセージが表示されます。
取扱説明書（ファクス & コピー編）を参照して、手動で回線種別を設定してください。

2004/02/21 15:25
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ｾｯﾃｲ ﾃﾞ ｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ

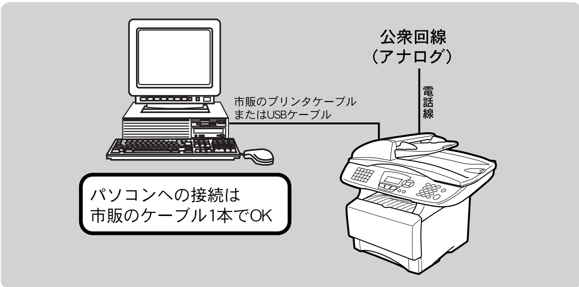
本機を、電話回線に接続せずに使用する（コピー、プリンタ、スキャナなどとして使用する）ときは、手動で回線種別を設定します。どの回線種別を設定しても構いません。取扱説明書（ファクス & コピー編）を参照して、手動で回線種別を設定してください。

参考　本機の接続イメージ

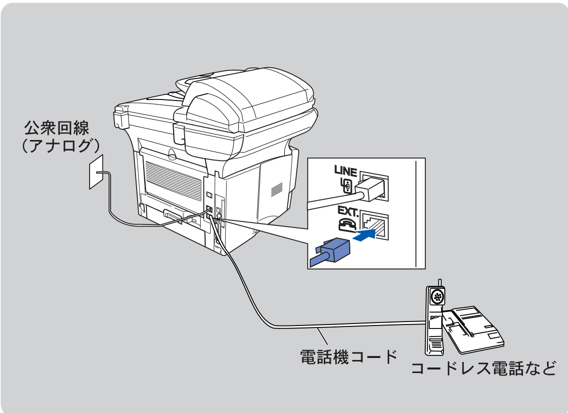
本機の接続イメージを以下に示します。

それぞれの説明については、取扱説明書（ファクス & コピー編）「2 章　ご使用前の準備」『本機の接続イメージ』を参照してください。

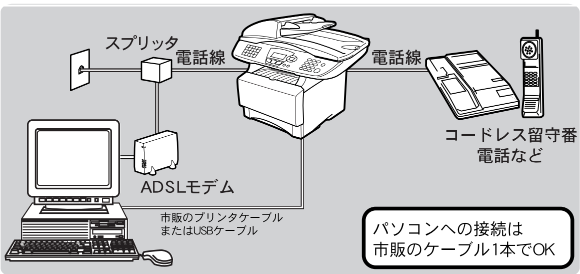
● 公衆回線に接続する場合（プリンタとファクスとして使う場合）



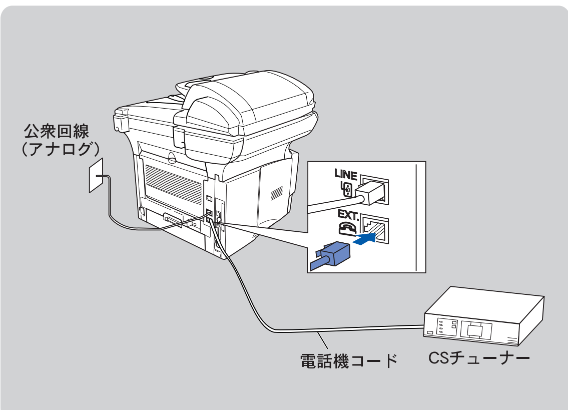
● 公衆回線に接続する場合（外付電話機を接続する場合）



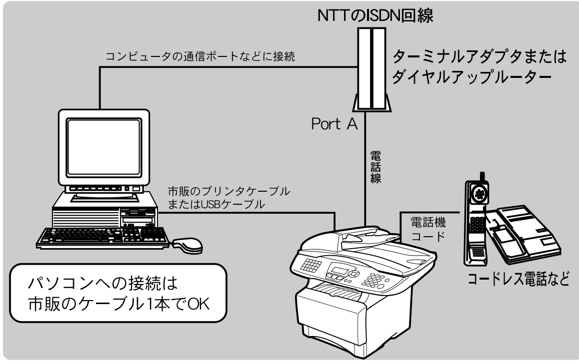
● ADSL（タイプ 1）環境に接続する場合



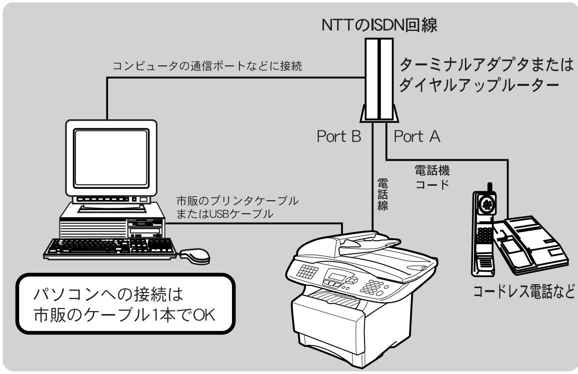
● CS チューナーを接続する場合



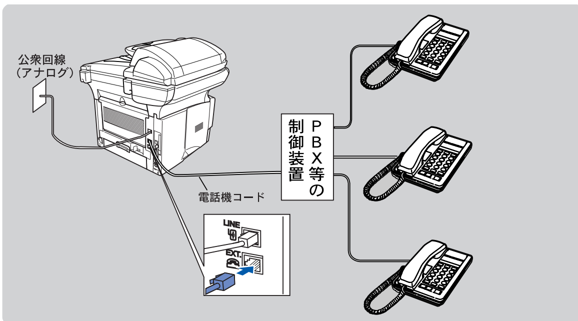
● ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 1 つの場合）



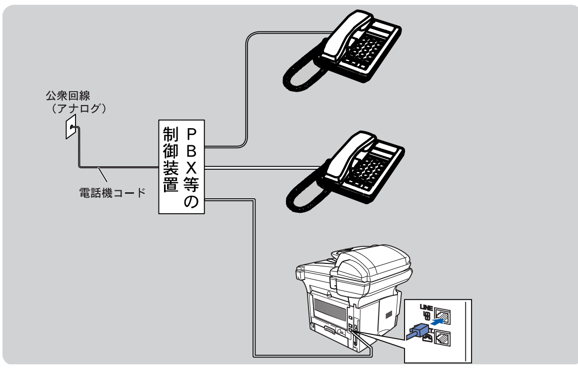
● ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 2 つの場合）

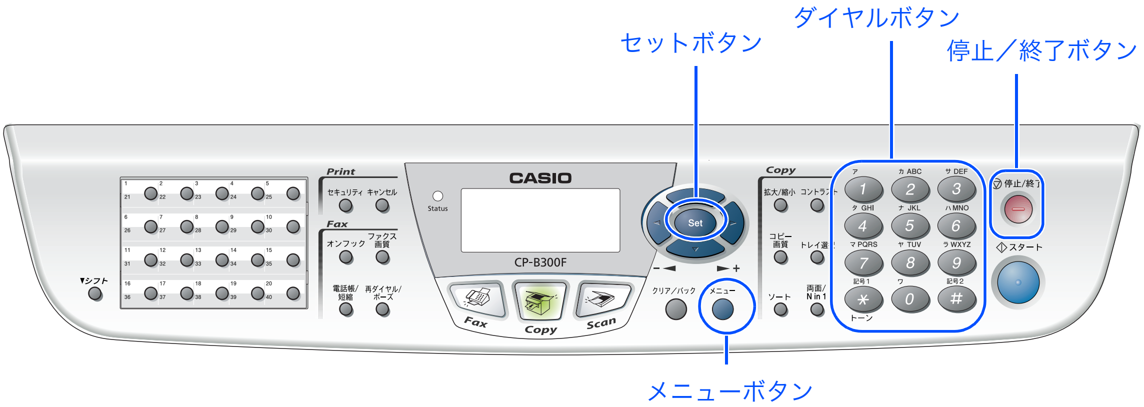


● 構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合

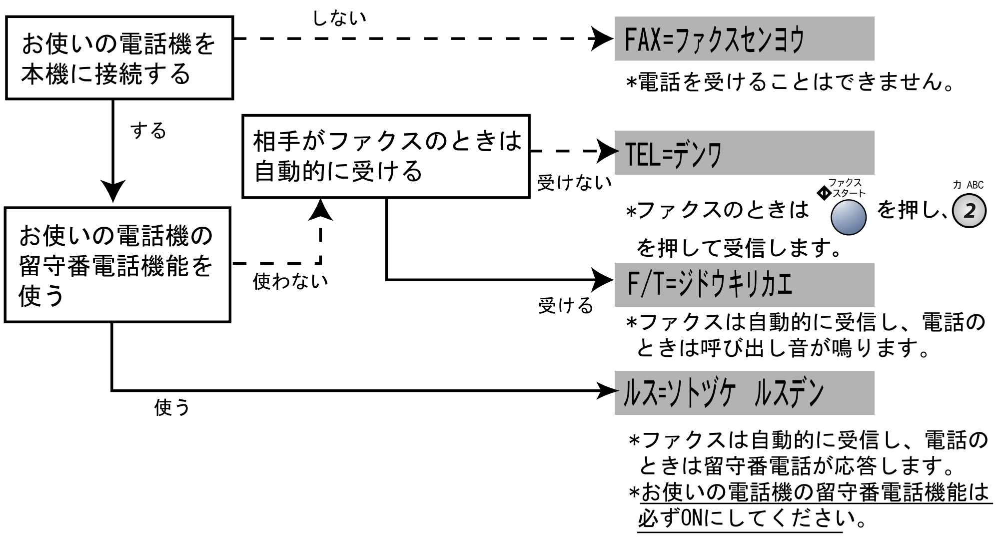


● 内線電話として接続する場合





7 受信モードを選びます



受信モードの詳細については、取扱説明書（ファクス & コピー編）「2章　ご使用前の準備」『受信モードについて』を参照してください。

1 メニュー ワ0 ア1 を押します。

```
01.ジュシンモード
▲ FAX=ファクスセンヨウ *
  F/T=ジドウキリカエ
▼ ルス=ソトヅケ ルスデン
▲▼デセンタク/セットボタン
```

2 ▲▼でモードを選択します。

「ファクスセンヨウ」、「ジドウキリカエ」、「ソトヅケ ルスデン」、「デンワ」の中から選びます。

3 Set を押します。

4 停止／終了 を押して操作は終了です。

```
2003/07/04  15:51
FAX=ファクスセンヨウ
ダイヤル/スタートボタン
```

8 日付・時刻を合わせます

1 メニュー ワ 0 カ ABC 2 を押します。

```
02.ﾄｹｲ ｾｯﾄ

 ﾈﾝ:20ｘｘ
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
```

2 年号（西暦の下 2 桁）を入力し、Set を押します。

・例 :2004 年の場合は 「04」

```
02.ﾄｹｲ ｾｯﾄ

 ﾈﾝ:2004
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
```

3 月を 2 桁で入力し、Set を押します。

例：2 月の場合は「02」

```
02.ﾄｹｲ ｾｯﾄ
 2004/ｘｘ/ｘｘ
 ﾂｷ:02
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
```

4 日付を 2 桁で入力し、Set を押します。

例：21 日の場合は「21」

```
02.ﾄｹｲ ｾｯﾄ
 2004/02/ｘｘ
 ﾋﾂﾞｹ:21
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
```

5 時刻（24 時間制）を入力し、Set を押します。

例：午後 3 時 25 分の場合は「15:25」

```
02.ﾄｹｲ ｾｯﾄ
 2004/02/21
 ｼﾞｺｸ:15:25
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
```

6 停止／終了 を押して登録を終了します。

日付や時刻を間違えたて入力したときは、停止／終了 を押して手順 1 からやり直してください。

9 名前とファクス番号を登録します（発信元登録）

ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の記録紙に印刷されます。

1 メニュー ワ 0 サ DEF 3 を押します。

```
03.ハッシンモト トウロク

 ファクス:
ニュウリョク/セットボタン
```

2 ファクス番号を入力し、Set を押します。
・20 桁まで登録できます。

```
03.ハッシンモト トウロク

 ファクス:03xxxxxxxx
ニュウリョク/セットボタン
```

3 電話番号を入力し、Menu Set を押します。
・20 桁まで登録できます。
・ファクス番号と電話番号が同じときは同じ番号を入れてください。

```
03.ハッシンモト トウロク
 ファクス:03xxxxxxxx

 デンワ:03xxxxxxxx
ニュウリョク/セットボタン
```

4 名前を入力し、Set を押します。
・20 文字まで登録できます。

```
03.ハッシンモト トウロク
 ファクス:03xxxxxxxx
 デンワ:03xxxxxxxx
 ナマエ:スズキケイコ      *
ウケツケマシタ
```

5 停止／終了 を押して登録を終了します。

■入力できる文字の一覧表

ダイヤルボタン ＼ 押す回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
ア 1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	1						
カABC 2	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	2								
サDEF 3	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	3								
タGHI 4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	G	H	I	4							
ナJKL 5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5								
ハMNO 6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	6								
マPQRS 7	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	7							
ヤTUV 8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	T	U	V	8							
ラWXYZ 9	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	Z	9							
ワ 0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	ー	0										
記号1 *	スペース	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	−	.	／	€
記号2 #	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_						

入力を間違えたときは、停止／終了 を押して手順 1 からやり直してください。
詳しい入力方法については、取扱説明書（ファクス＆コピー編）「2 章 ご使用前の準備」『文字入力をする』を参照してください。

15 ページの Step2 へ進んでください。

CD-ROM の内容

Windows®



インストール

CP-B300F ドライバ

以下の機能が含まれています。
・プリンタドライバ
・スキャナドライバ
・PC-FAX ソフトウェア
・リモートセットアップ

パソコンと接続する場合は、必ずインストールしてください。

CP-B300F ドライバの修復

かんたん設置ガイドの手順通りにインストールできない場合に使用します。ドライバを修復して再インストールします。

CP-B300F ソフトウェア

・Presto!® PageManager®

TWAIN 準拠のスキャナソフトウェアです。カラースキャナ機能や本体操作パネル上にあるスキャンボタンをご使用になる場合に必要です。

・Brother OCR

取り込んだ画像を簡単に OCR（光学文字認識）に展開することができるソフトウェアです。スキャン OCR 機能（スキャンして読み取った原稿を自動的にテキスト変換する機能）をご使用になる場合に必要です。

ネットワーク管理用ソフトウェア

ネットワーク接続に関するドライバ / ソフトウェアがあります。

・BRAdmin Professional
・ネットワークプリントソフトウェア

取扱説明書閲覧

かんたん設置ガイド

（本書）をパソコン上で閲覧できます。

取扱説明書

取扱説明書（ファクス & コピー編）、取扱説明書（パソコン活用編）の閲覧ができます。

ネットワーク取扱説明書

ネットワーク設定説明書の閲覧ができます。

Adobe Acrobat Reader

CD-ROM に収録されている取扱説明書（PDF マニュアル）を参照するときに使用します。

■動作環境は次のページに記載されています。（18 ページ）

USB ケーブルで接続する
Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP ユーザの方19 ページへ

パラレルケーブルで接続する
Windows® 95/98/98SE/Me/2000 Professional/XP ユーザの方 27 ページへ
Windows NT® Work Station Version 4.0 ユーザの方 .... 33 ページへ

ネットワークケーブルで接続する
Windows® 95/98/98SE/Me/2000 Professional/XP,Windows NT®4.0 ユーザの方35 ページへ

・Windows® をお使いの方はドライバをインストール後ソフトウェアをインストールします。（39 ページ）

ネットワーク管理者の方へ..40 ページへ

Windows® 95,Windows NT®4.0 では USB 接続は使用できません。

本機をパソコンと接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、プリンタドライバやスキャナドライバといったドライバや付属のソフトウェアなどをインストールする必要があります。
ソフトウェアをインストールする前に CD-ROM に収録されている内容と、パソコンの動作環境を確認してください。

■ ドライバとは、本機をプリンタやスキャナとして使用できるようにするためのソフトウェアです。

動作環境

OS ／ CPU ／メモリー
Windows® 95/98/98SE/Me /2000 Professional,Windows NT® 4.0（SP6 以降） Pentium® II プロセッサ（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /64MB(推奨 128MB) 以上 Windows® XP Pentium® II プロセッサ 300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /128MB(推奨 256MB) 以上
ディスク容量
270MB 以上の空き容量
CD-ROM ドライブ
2 倍速以上必須
インターフェイス
USB 2.0 パラレル ネットワーク（10Base-T）/（100Base-TX） ● USB ケーブル USB ケーブルは、USB1.1 または USB2.0 ツイストペア、シールドタイプのケーブルをご使用ください。お使いのパソコンが Hi-Speed USB 2.0 に対応している場合は、Hi-Speed USB 2.0 の動作が保証されたケーブルをお使いください。（Hi-Speed USB 2.0 の動作が保証されたケーブルには認証ロゴがはいっています） 弊社オプション品の USB ケーブル CP-CAUSB のご使用を推奨します。 ● プリンタケーブル プリンタケーブルは、IEEE1284 に準拠した双方向通信対応のケーブルをご使用ください。弊社オプション品のプリンタケーブル CP-CA554（DOS/V パソコン用）のご使用を推奨します。

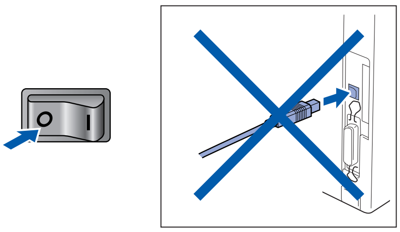
■ メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
■ Windows® 2000 Professional/XP,Windows NT®4.0 を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」でログオンする必要があります。
■ USB 接続は、次のパソコンに対応しています。
・Windows® 98/98SE/Me/2000/XP のプレインストールモデル
・以下のアップグレードモデル
Windows® 98/98SE → Windows® Me/2000/XP
Windows® Me → Windows® 2000/XP
Windows® 2000 → Windows® XP
■ Windows® Server 2003 でのご使用について
・プリンタ機能は使用できますが、スキャナ機能は使用できません。
・USB 接続は使用できません。パラレルまたはネットワーク接続をご使用ください。
・プリンタドライバは CD-ROM のセットアップ (setup.exe) によるインストールはできません。スタートメニューから [プリンタと FAX] をクリックし、[プリンタのインストール] をクリックすると [プリンタの追加ウイザード] が表示されますので、画面の指示に従ってインストールしてください。
インストールするドライバは、CD-ROM 上の以下の保存場所を選択してください。
E:¥JPN¥WXP¥Addprt（CD-ROM が E: ドライブの場合）

USB ケーブルで接続する

Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP ユーザの方

インストールを開始する前に「Step1 本機の準備を行います」(6 ～ 14 ページ) が完了していることを確認してください。
Windows®XP Service Pack2 をご使用の場合は、あらかじめ「Windows XP Service Pack2 について」（38 ページ）を確認してください。

1 本機の電源スイッチを OFF にします。



注意 USB ケーブルが接続されている場合は、USB ケーブルを本機から外してください。

2 パソコンの電源を入れます。
Windows® 2000 Professional/XP をご使用の場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

a「インストール」をクリックします。

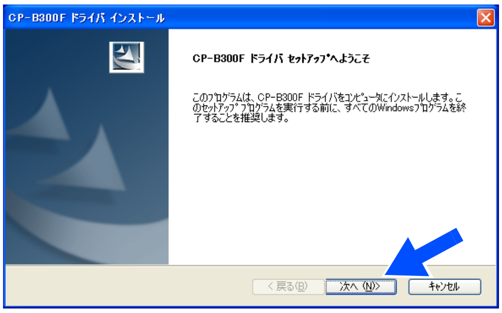


b「CP-B300F ドライバ」をクリックします。



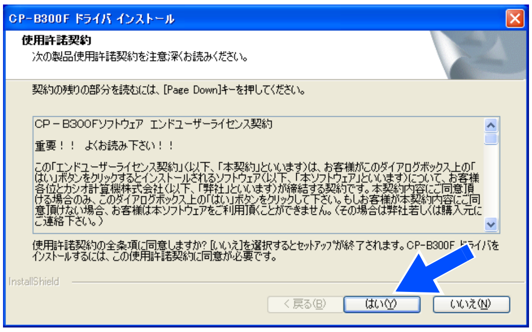
USB ケーブルで接続する (Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP ユーザの方)

c 「次へ」をクリックします。

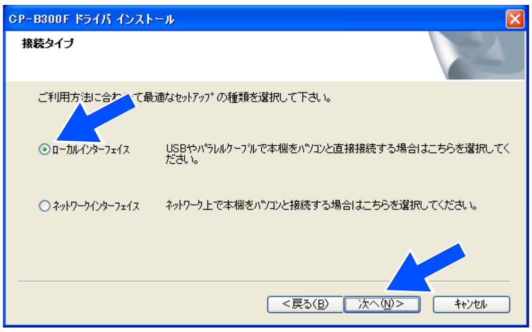


上記画面インストール中にエラーメッセージが表示された場合、すでにインストールされている CP-B300F ドライバをアンインストールする必要があります。スタートメニューから［すべてのプログラム］－［CASIO SPEEDIA CP-B300F］－［アンインストール］の順に選択し、画面に表示される指示に従ってください。アンインストール後、再度手順 1 からやりなおしてください。

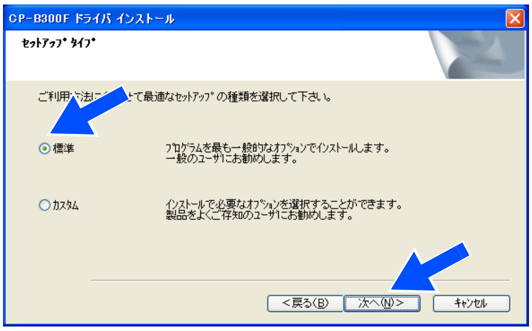
d 使用許諾契約の画面が表示されます。「はい」をクリックします。

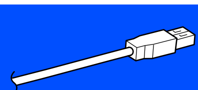


e 「ローカル インターフェイス」を選択し、「次へ」をクリックします。



f 「標準」を選択し、「次へ」をクリックします。





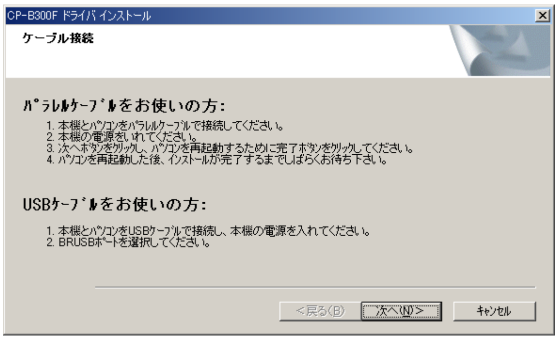
Windows® 98/98SE/Me ユーザの方
→ 21 ページへお進みください。
Windows® 2000 Professional ユーザの方
→ 23 ページへお進みください。
Windows® XP ユーザの方
→ 25 ページへお進みください。

USB ケーブルで接続する

Windows® 98/98SE/Me ユーザの方

手順の 1 から 3 の作業（19 ～ 20 ページ）が終了していることを確認してください。

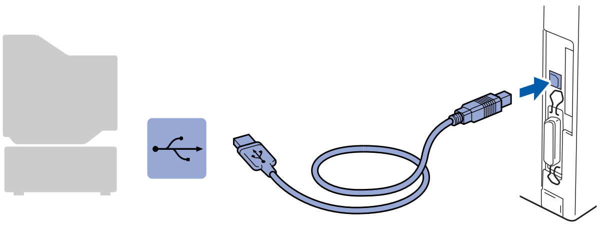
4 ケーブル接続画面が表示されます。



5 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

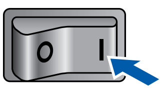
a パソコンに USB ケーブルを接続します。

b 本機に USB ケーブルを接続します。



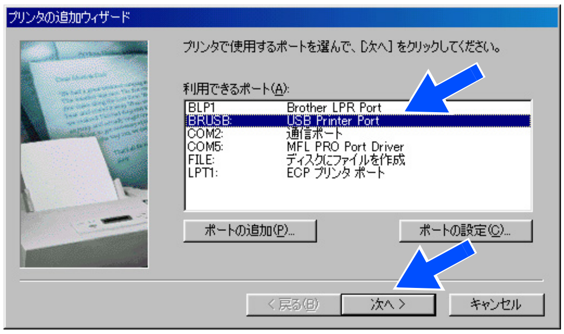
6 本機の電源スイッチを ON にします。電源スイッチを ON にすると、インストールが継続されます。

（インストール画面が表示されるまでに数秒かかります。）

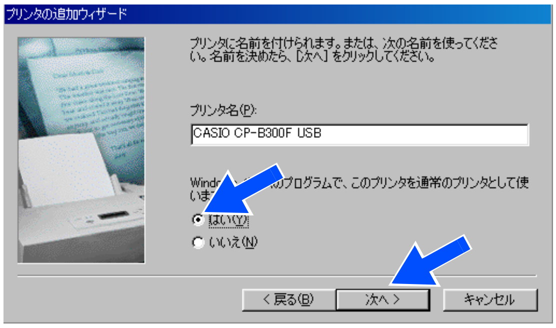


7 画面の指示に従って操作します。

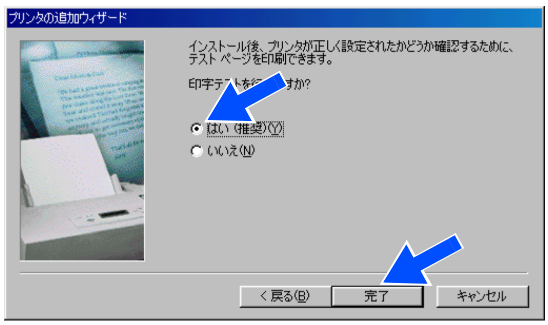
a 「BRUSB:USB Printer Port」を選択し、「次へ」をクリックします。



b プリンタ名を確認した後、「はい」を選択し、「次へ」をクリックします。

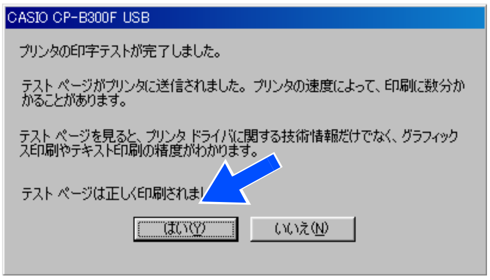


c 「はい」（推奨）を選択し、「完了」をクリックします。



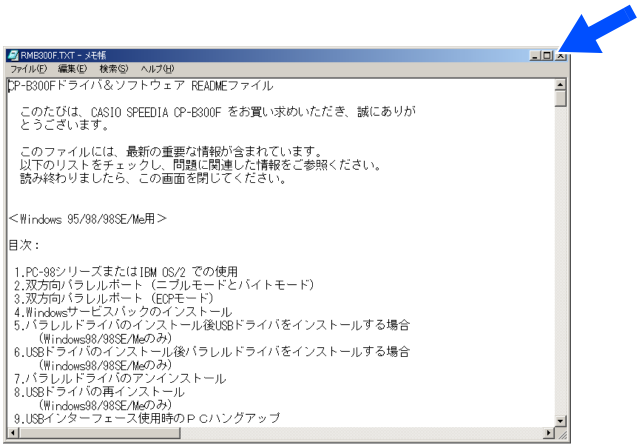
USB ケーブルで接続する（Windows® 98/98SE/Me ユーザの方）

d テストページが正しく印刷されたことを確認し、「はい」をクリックします。

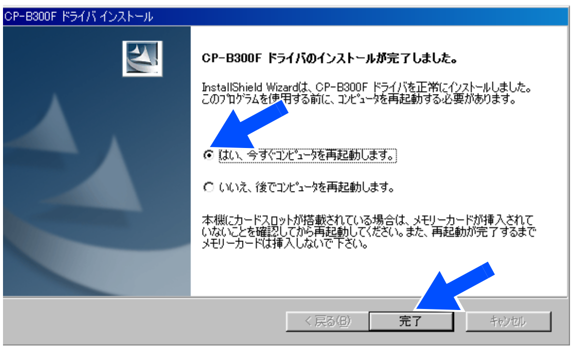


手順 **e** の「Read Me」および手順 **f** の完了画面が表示された時は、テストページの印刷終了後「Read Me」を閉じ「完了」をクリックしてください。

e Read Me 画面が表示されます。表示された内容をよく読みます。[x] ボタンをクリックしてファイルを閉じます。



f「はい」を選択して、「完了」をクリックします。



OK! CP-B300F ドライバのインストールは完了しました。パソコンが再起動しますので、引き続き「CP-B300F ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

CP-B300F ドライバを手順どおりにインストールできない場合は、CD-ROM メニューの “CP-B300F ドライバの修復” から再度、インストールをやり直してください。

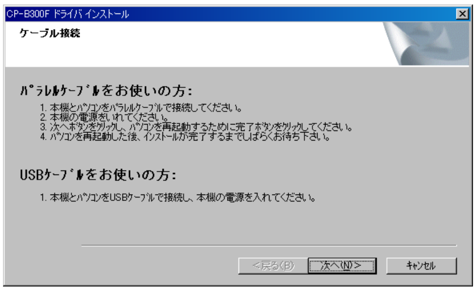
→ 39 ページへお進みください。

USB ケーブルで接続する

Windows® 2000 Professional ユーザの方

手順の 1 から 3 の作業（19 ～ 20 ページ）が終了していることを確認してください。

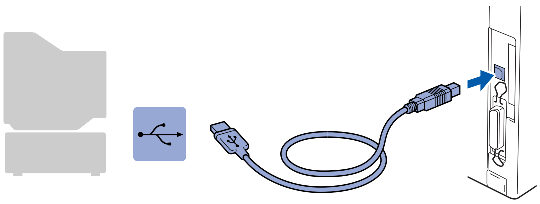
4 ケーブル接続画面が表示されます。



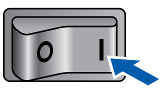
5 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

a パソコンに USB ケーブルを接続します。

b 本機に USB ケーブルを接続します。



6 本機の電源スイッチを ON にします。電源スイッチを ON にすると、インストールが継続されます。
（インストール画面が表示されるまでに数秒かかります。）



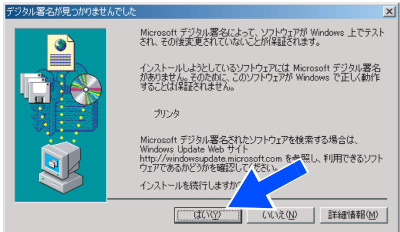
電源スイッチを入れると自動的に CP-B300F ドライバがインストールされます。その間、ウィンドウが何度も開いたりする場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

7 画面の指示に従って操作します。

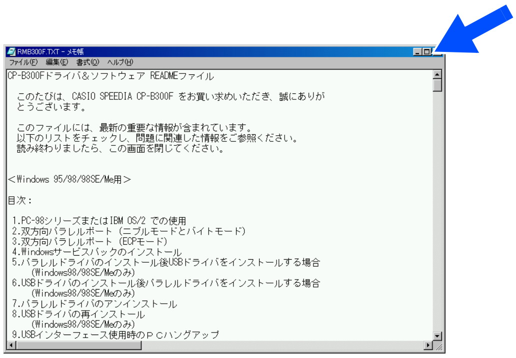
a 「はい」をクリックします。



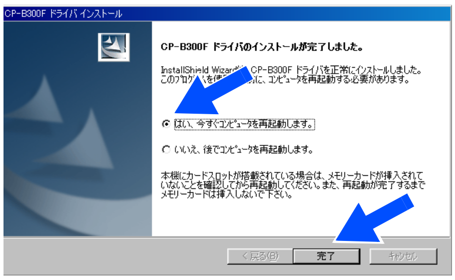
b 「はい」をクリックします。



c Read Me 画面が表示されます。表示された内容をよく読みます。[x] ボタンをクリックしてファイルを閉じます。



d 「はい」を選択して、「完了」をクリックします。



本機の準備
パソコンにドライバとソフトウェアをインストールします
Windows® USB
ネットワーク管理者の方へ

USB ケーブルで接続する（Windows® 2000 Porfessional ユーザの方）

OK! CP-B300F ドライバのインストールは完了しました。パソコンが再起動しますので、引き続き「CP-B300F ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

CP-B300F ドライバを手順どおりにインストールできない場合は、CD-ROM メニューの“CP-B300F ドライバの修復”から再度、インストールをやり直してください。

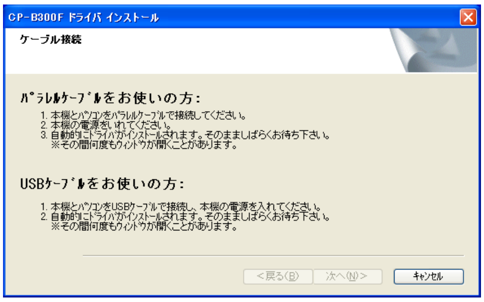
→ 39 へお進みください。

USB ケーブルで接続する

Windows® XP ユーザの方

手順の 1 から 3 の作業（19 ～ 20 ページ）が終了していることを確認してください。

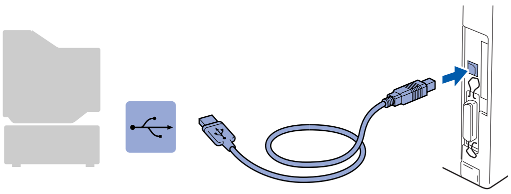
4 ケーブル接続画面が表示されます。



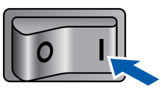
5 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

a パソコンに USB ケーブルを接続します。

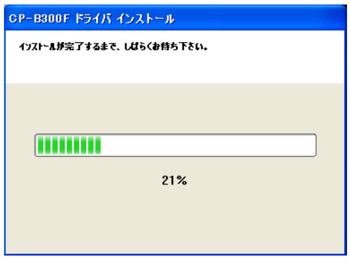
b 本機に USB ケーブルを接続します。



6 本機の電源スイッチを ON にします。電源スイッチを ON にすると、インストールが継続されます。
（インストール画面が表示されるまでに数秒かかります。）



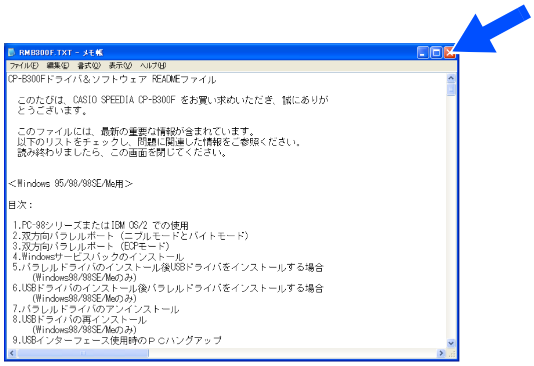
電源スイッチを入れると自動的に CP-B300F ドライバがインストールされます。その間、ウィンドウが何度も開いたりする場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。



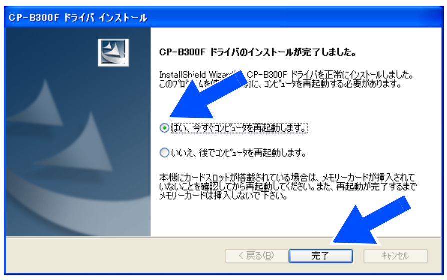
Windows XP Service Pack2 では、インストールが極端に遅くなったり、途中で進まなくなる場合があります。このようなときは「Windows XP Service Pack2 について」（38 ページ）をご覧ください。

7 画面の指示に従って操作します。

a Read Me 画面が表示されます。表示された内容をよく読みます。[x] ボタンをクリックしてファイルを閉じます。



b「はい」を選択し、「完了」をクリックします。



USB ケーブルで接続する（Windows® XP ユーザの方）

OK! CP-B300F ドライバのインストールは完了しました。パソコンが再起動しますので、引き続き「CP-B300F ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

CP-B300F ドライバを手順どおりにインストールできない場合は、CD-ROM メニューの“CP-B300F ドライバの修復”から再度、インストールをやり直してください。

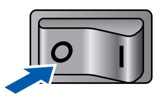
→ 39 ページへお進みください。

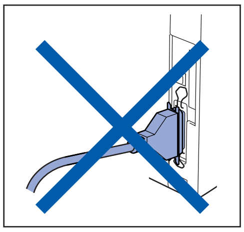
パラレルケーブルで接続する

Windows® 95/98/98SE/Me/2000 Professional/ XP ユーザの方

インストールを開始する前に「Step1 本機の準備を行います」(6 ～ 14 ページ) が完了していることを確認してください。
Windows®XP Service Pack2 をご使用の場合は、あらかじめ「Windows XP Service Pack2 について」(38 ページ）を確認してください。

1 本機の電源スイッチを OFF にします。

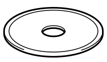




注意 パラレルケーブルが接続されている場合は、パラレルケーブルを本機から外してください。

2 パソコンの電源を入れます。
Windows® 2000 Professional/XP をご使用の場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。



画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

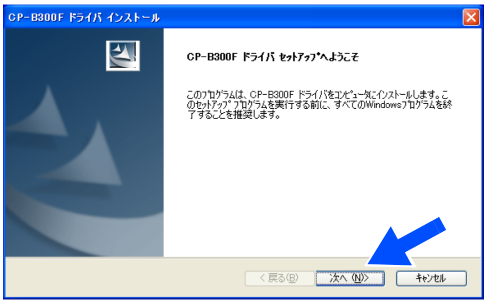
a「インストール」をクリックします。



b「CP-B300F ドライバ」をクリックします。

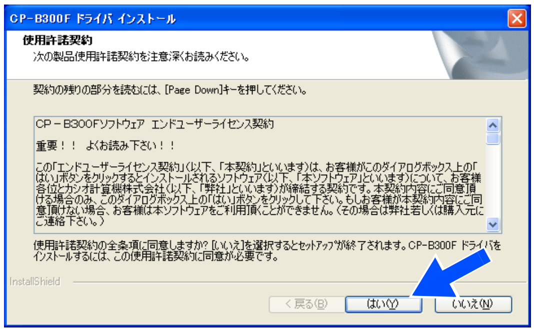


c「次へ」をクリックします。



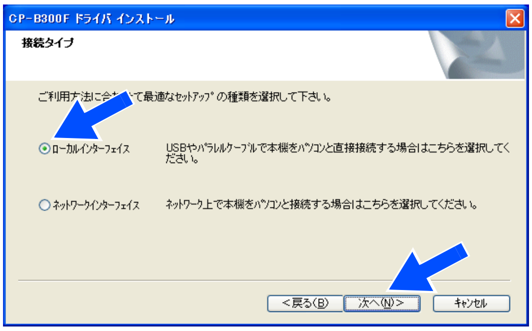
上記画面インストール中にエラーメッセージが表示された場合、すでにインストールされている CP-B300F ドライバをアンインストールする必要があります。スタートメニューから［すべてのプログラム］－［CASIO SPEEDIA CP-B300F］－［アンインストール］の順に選択し、画面に表示される指示に従ってください。アンインストール後再度手順 1 からやりなおしてください。

d 使用許諾契約の画面が表示されます。「はい」をクリックします。

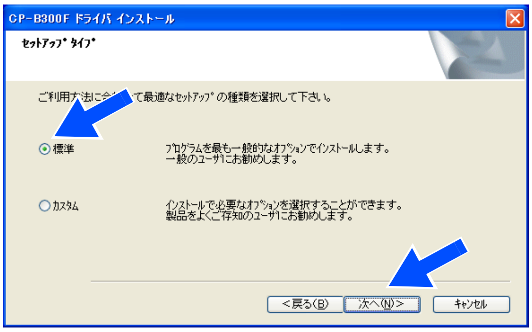


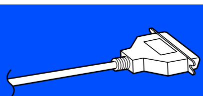
パラレルケーブルで接続する（Windows® 95/98/98SE/Me/2000 Professional/XP ユーザの方）

e「ローカル インターフェイス」を選択し、「次へ」をクリックします。



f「標準」を選択し、「次へ」をクリックします。





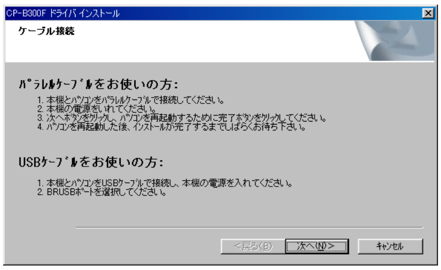
Windows® 95/98/98SE/Me ユーザの方
→ 29 ページへお進みください。
Windows® 2000 Professional ユーザの方
→ 30 ページへお進みください。
Windows® XP ユーザの方
→ 32 ページへお進みください。

パラレルケーブルで接続する

Windows® 95/98/98SE/Me ユーザの方

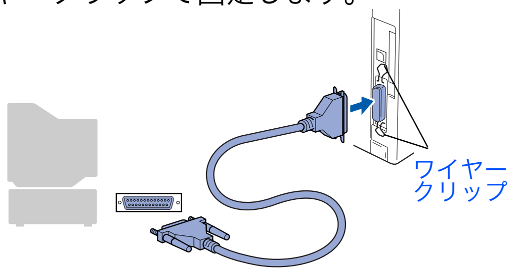
手順の 1 から 3 の作業（27 ～ 28 ページ）が終了していることを確認してください。

4 ケーブル接続画面が表示されます。



5 本機とパソコンをパラレルケーブルで接続します。

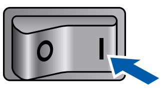
a パラレルケーブルを本機のパラレルインターフェースポートに接続し、ワイヤークリップで固定します。



b パラレルケーブルをパソコンのプリンタポートに接続し、2 本のねじで固定します。

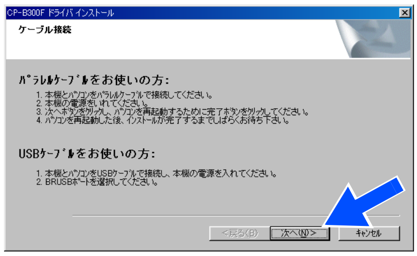
> **注意** パラレルケーブルを接続するときは本機の電源が OFF になっていることを確認してください。
> 電源が OFF になっていないと、本機に不具合が生じる可能性があります。

6 本機の電源スイッチを ON にします。

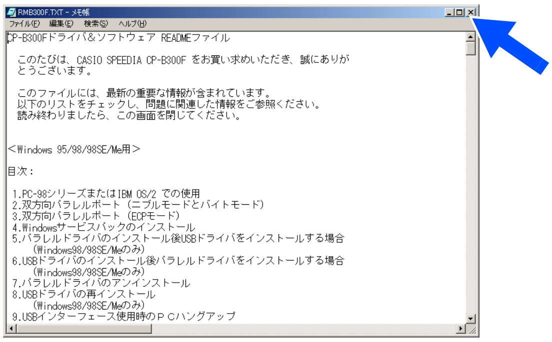


7 画面の指示に従って操作します。

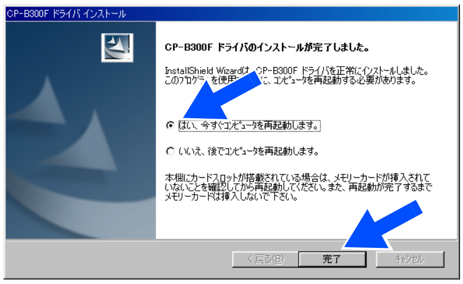
a「次へ」をクリックします。



b Read Me 画面が表示されます。表示された内容をよく読みます。[x] ボタンをクリックしてファイルを閉じます。



c「はい」を選択し、「完了」をクリックします。



パソコンが再起動し、再起動後、ドライバが自動でインストールされます。画面の指示にしたがってください。

OK! CP-B300F ドライバのインストールは完了しました。引き続き「CP-B300F ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

CP-B300F ドライバを手順どおりにインストールできない場合は、CD-ROM メニューの“CP-B300F ドライバの修復”から再度、インストールをやり直してください。

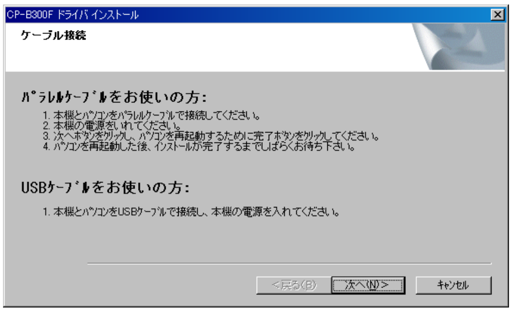
→ 39 ページへお進みください。

パラレルケーブルで接続する

Windows® 2000 Professional ユーザの方

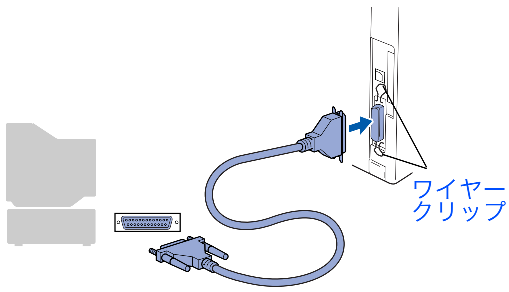
手順の 1 から 3 の作業（27 ～ 28 ページ）が終了していることを確認してください。

4 ケーブル接続画面が表示されます。



5 本機とパソコンをパラレルケーブルで接続します。

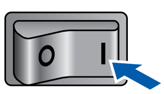
a パラレルケーブルを本機のパラレルインターフェースポートに接続し、ワイヤークリップで固定します。



b パラレルケーブルをパソコンのプリンタポートに接続し、2 本のねじで固定します。

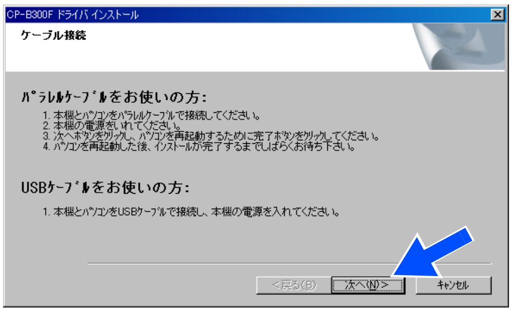
注意	パラレルケーブルを接続するときは本機の電源が OFF になっていることを確認してください。 電源が OFF になっていないと、本機に不具合が生じる可能性があります。

6 本機の電源スイッチを ON にします。

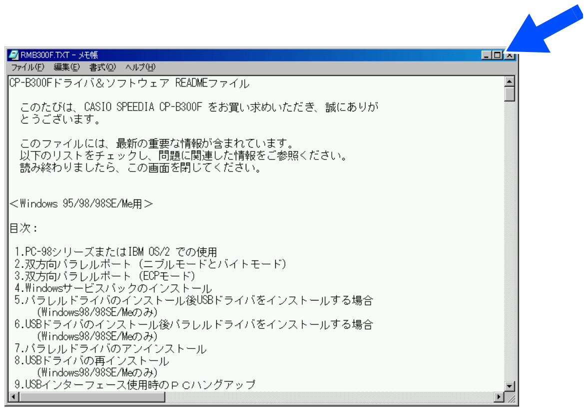


7 画面の指示に従って操作します。

a「次へ」をクリックします。

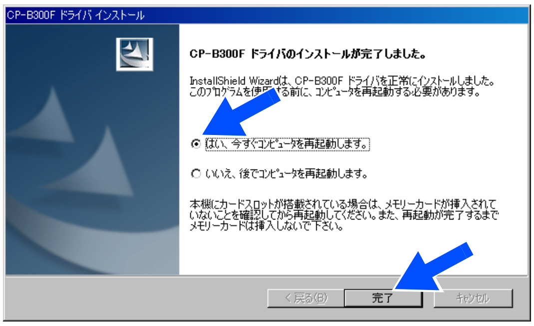


b Read Me 画面が表示されます。表示された内容をよく読みます。[x] ボタンをクリックしてファイルを閉じます。



パラレルケーブルで接続する (Windows® 2000 Professional ユーザの方)

c 「はい」を選択し、「完了」をクリックします。



パソコンが再起動します。

d 「はい」をクリックします。



e 「はい」をクリックします。



OK! **CP-B300F ドライバのインストールは完了しました。引き続き「CP-B300F ソフトウェアをインストールする」にお進みください。**

CP-B300F ドライバを手順どおりにインストールできない場合は、CD-ROM メニューの“CP-B300F ドライバの修復”から再度、インストールをやり直してください。

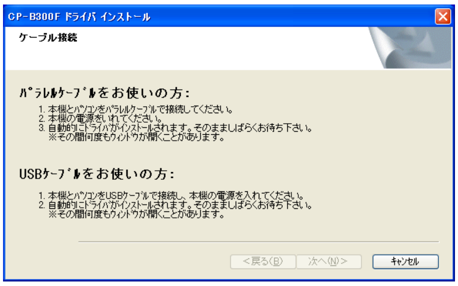
→ 39 ページへお進みください。

パラレルケーブルで接続する

Windows® XP ユーザの方

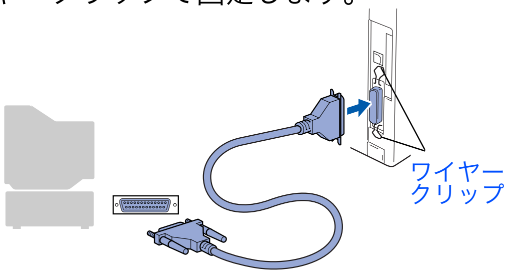
手順の 1 から 3 の作業（27 ～ 28 ページ）が終了していることを確認してください。

4 ケーブル接続画面が表示されます。



5 本機とパソコンをパラレルケーブルで接続します。

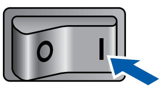
a パラレルケーブルを本機のパラレルインターフェースポートに接続し、ワイヤークリップで固定します。



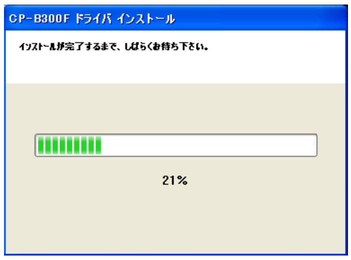
b パラレルケーブルをパソコンのプリンタポートに接続し、２本のねじで固定します。

注意 パラレルケーブルを接続するときは本機の電源が OFF になっていることを確認してください。
電源が OFF になっていないと、本機に不具合が生じる可能性があります。

6 本機の電源スイッチを ON にします。電源スイッチを ON にすると、インストールが継続されます。（インストール画面が表示されるまでに数分かかります。）



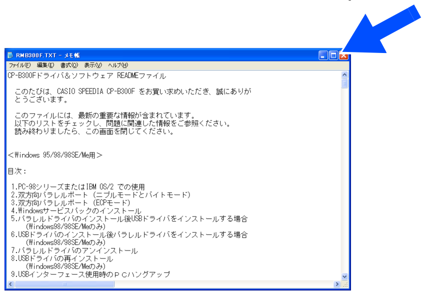
電源スイッチを入れると自動的に CP-B300F ドライバがインストールされます。その間、ウィンドウが何度も開いたりする場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。



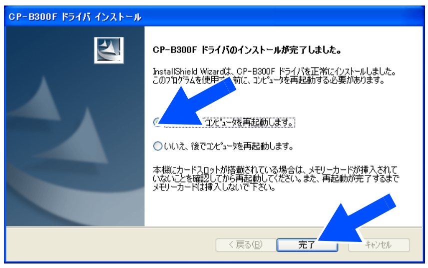
Windows XP Service Pack2 では、インストールが極端に遅くなったり、途中で進まなくなる場合があります。このようなときは「Windows XP Service Pack2 について」（38 ページ）をご覧ください。

7 画面の指示に従って操作します。

a Read Me 画面が表示されます。表示された内容をよく読みます。[x] ボタンをクリックしてファイルを閉じます。



b「はい」を選択し、「完了」をクリックします。



OK! CP-B300F ドライバのインストールは完了しました。パソコンが再起動しますので、引き続き「CP-B300F ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

CP-B300F ドライバを手順どおりにインストールできない場合は、CD-ROM メニューの“CP-B300F ドライバの修復”から再度、インストールをやり直してください。

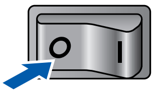
→ 39 ページへお進みください。

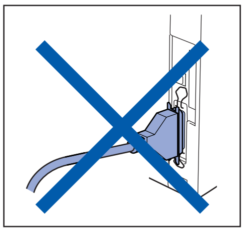
パラレルケーブルで接続する

Windows NT® WorkStation Version 4.0 (SP6 以降) ユーザの方

インストールを開始する前に「Step1 本機の準備を行います」(6 ～ 14 ページ) が完了していることを確認してください。

1 本機の電源スイッチを OFF にします。



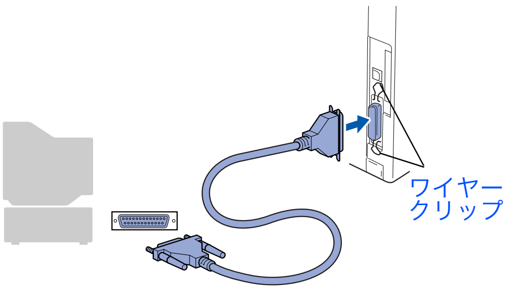


注意 パラレルケーブルが接続されている場合は、パラレルケーブルを本機から外してください。

2 パソコンの電源を入れます。
アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

3 本機とパソコンをパラレルケーブルで接続します。

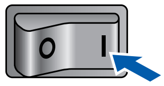
a パラレルケーブルを本機のパラレルインターフェースポートに接続し、ワイヤークリップで固定します。



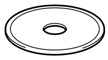
b パラレルケーブルをパソコンのプリンタポートに接続し、2 本のねじで固定します。

注意 パラレルケーブルを接続するときは本機の電源が OFF になっていることを確認してください。
電源が OFF になっていないと、本機に不具合が生じる可能性があります。

4 本機の電源スイッチを ON にします。



5 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。



画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

a「インストール」をクリックします。

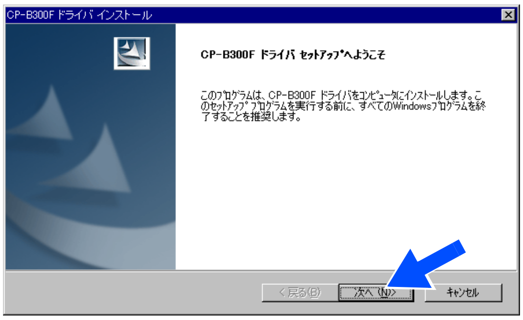


b「CP-B300F ドライバ」をクリックします。

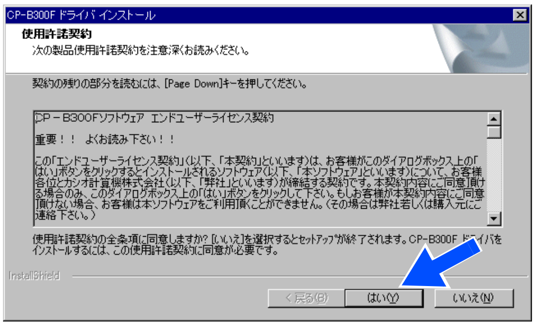


パラレルケーブルで接続する (Windows NT® WorkStation Version 4.0 (SP6 以降) ユーザの方)

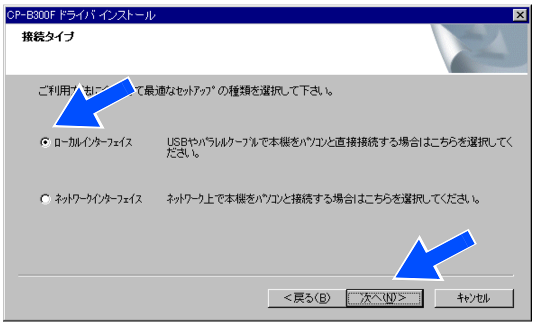
c 「次へ」をクリックします。



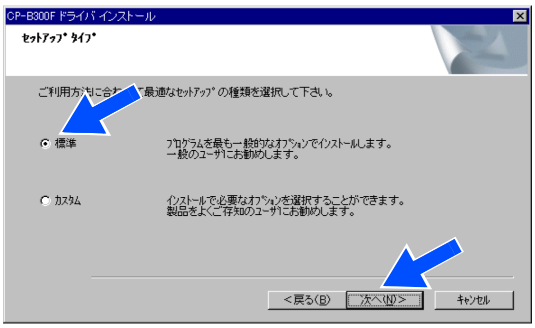
d 使用許諾契約の画面が表示されます。「はい」をクリックします。



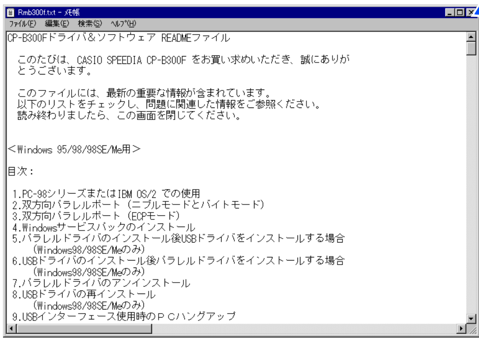
e 「ローカル インターフェイス」を選択し、「次へ」をクリックします。



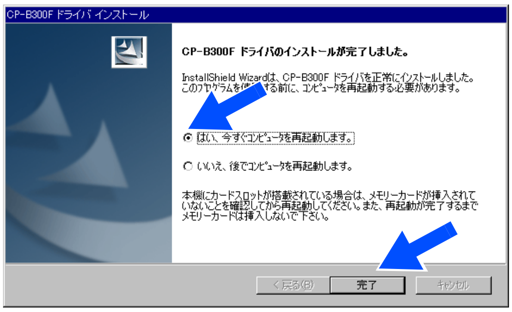
f 「標準」を選択し、「次へ」をクリックします。



g Read Me 画面が表示されます。表示された内容をよく読みます。[x] ボタンをクリックしてファイルを閉じます。



6 「はい」を選択し、「完了」をクリックします。



OK! CP-B300F ドライバのインストールは完了しました。パソコンが再起動しますので、引き続き「CP-B300F ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

CP-B300F ドライバを手順どおりにインストールできない場合は、CD-ROM メニューの“CP-B300F ドライバの修復”から再度、インストールをやり直してください。

→ 39 ページへお進みください。

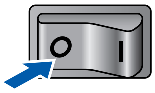
ネットワークケーブルで接続する

Windows® 95/98/98SE/Me/2000 Professional/XP,Windows NT® 4.0 ユーザの方

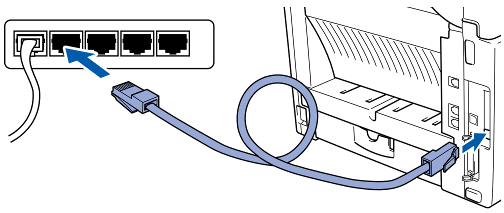
オプションの LAN I/F ボード（CP-LA300）が必要となります。
インストールを開始する前に「Step1 本機の準備を行います」(6 ～ 14 ページ) が完了していることを確認してください。

1 取扱説明書（ファクス & コピー編）の 9 章「オプション」『LAN I/F ボード（CP-LA300）を取り付けます』を見て、CP-LA300 を本機に取り付けます。

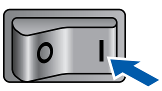
2 本機の電源スイッチを OFF にします。



3 本機とネットワークハブポートをネットワークケーブルで接続します。

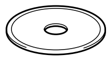


4 本機の電源スイッチを ON にします。



5 パソコンの電源を入れます。
Windows® 2000 Professional/XP,Windows NT® 4.0 をご使用の場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

6 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。



画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

a「インストール」をクリックします。

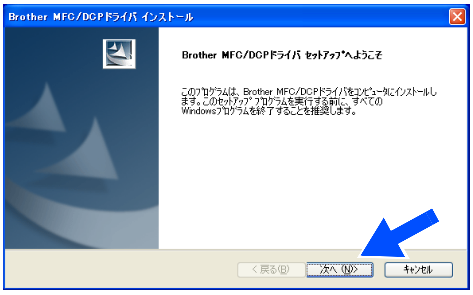


b「CP-B300F ドライバ」をクリックします。

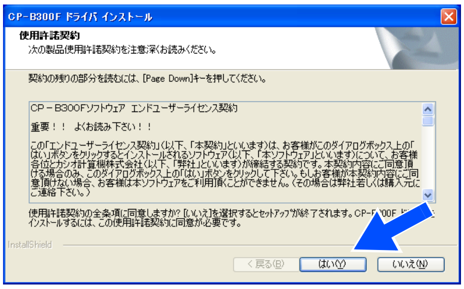


ネットワークケーブルで接続する (Windows® 95/98/98SE/Me/2000 Professional/XP,Windows NT®4.0 ユーザの方)

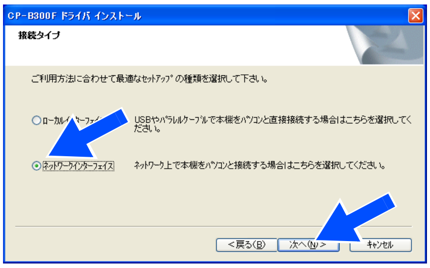
c 「次へ」をクリックします。



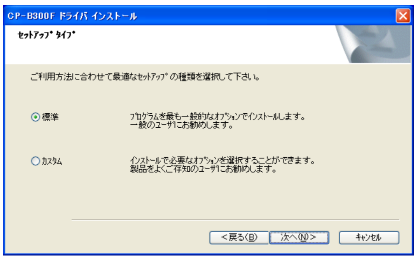
d 使用許諾契約の画面が表示されます。「はい」をクリックします。



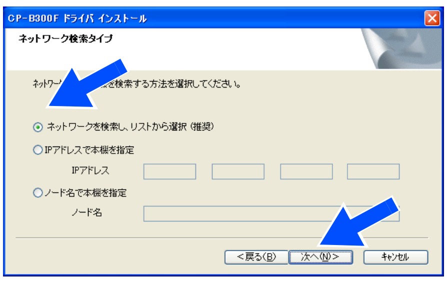
e 「ネットワーク インターフェイス」を選択し、「次へ」をクリックします。



f 「標準」を選択し、「次へ」をクリックします。

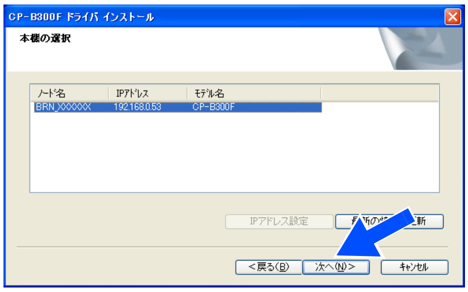


g 「ネットワークを検索し、リストから選択(推奨)」を選択し、「次へ」をクリックします。

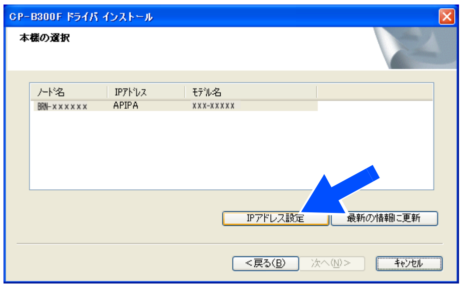


■ [IP アドレスで本機を指定] を選択し、エラーメッセージが表示された場合は、[ネットワークを検索し、リストから選択(推奨)] を選択しなおして進んでください。

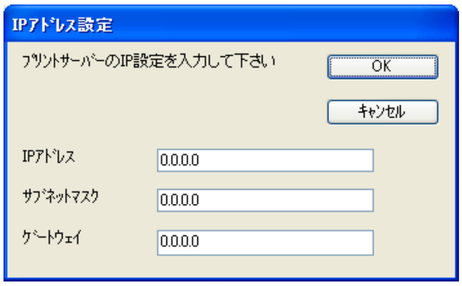
h ・IP アドレスの値が OK であれば「次へ」をクリックして j へ進みます。
・もし本機の IP アドレスが未設定 (IP アドレスが APIPA と表示された場合) または変更する場合は i へ進みます。
・ネットワークプリンタが検出されない場合は、38 ページの“パーソナルファイアウォールについて”を参照してください。



i 「IP アドレス設定」をクリックします。



j IP アドレス等を入力して「OK」をクリックします。

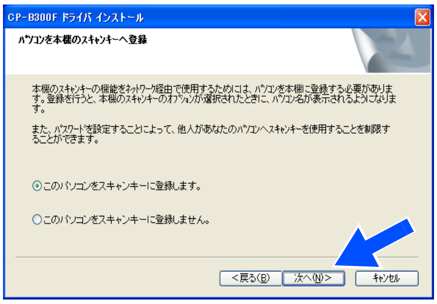


ネットワークケーブルで接続する (Windows® 95/98/98SE/Me/2000 Professional/XP,Windows NT®4.0 ユーザの方)

k 「次へ」をクリックします。

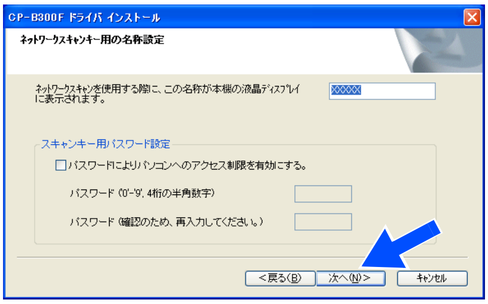


l ・Windows® 95,Windows NT®4.0 の場合は **7** へ進みます。
・Windows® 98/98SE/Me/2000/XP の場合は「このパソコンをスキャンキーに登録します。」を選択し、「次へ」をクリックして **m** へ進みます。



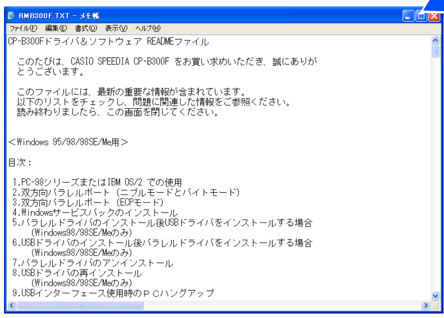
m 必要であれば「ネットワークスキャンを使用する際に、この名称が本機の液晶ディスプレイに表示されます。」の欄に名称を入力します。
「次へ」をクリックします。

4 文字のパスワードを設定することができます。

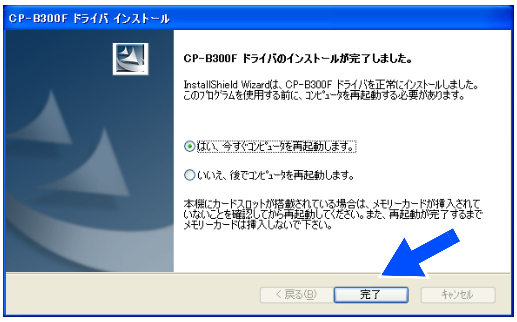


自動的に CP-B300F ドライバがインストールされます。その間、ウィンドウが何度も開いたりする場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

7 Read Me 画面が表示されます。表示された内容をよく読みます。[x] ボタンをクリックしてファイルを閉じます。



8 「はい」を選択し、「完了」をクリックします。



OK! CP-B300F ドライバのインストールは完了しました。パソコンが再起動しますので、引き続き「CP-B300F ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

■ Windows® 95,Windows NT®4.0 の場合はスキャナドライバはインストールされません。

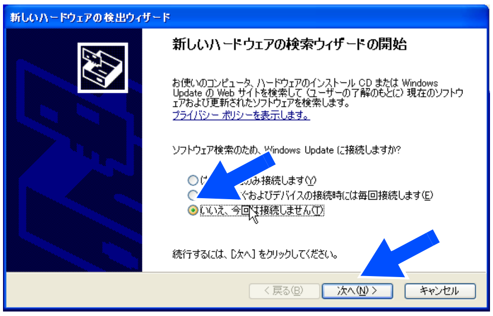
→ 39 ページへお進みください。

■ パーソナルファイアウォールについて
パソコンに市販のファイアウォール等の機能を有するソフトウェアをインストールしている場合は、一旦停止させるか、UDP のポート 137 が有効になるように設定してからやり直してください。設定の詳細はソフトウェア提供元へご相談ください。

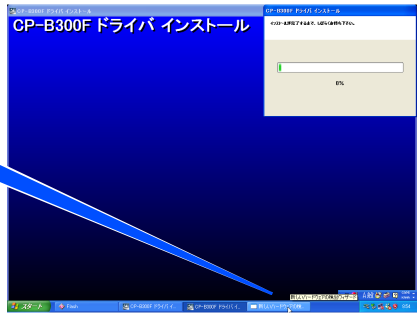
■ Windows XP のパーソナルファイアウォール機能について
Windows XP で、「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、下記手順で一旦無効にしてからやり直してください。

スタートメニューから［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット接続］－［ネットワーク接続］をクリックします。使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
画面が表示されたら、［詳細設定］タブをクリックします。［インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制御したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する］のチェックを外します。

■ Windows XP Service Pack2 について
ドライバをインストールしている途中で図のような画面が何度か表示される場合があります。このようなときは「いいえ、今回は接続しません (T)」を選択し、「次へ」をクリックしてください。インストールが極端に遅くなったり、途中で進まなくなった場合は、この画面がインストール画面の背面に隠れていることがありますので、タスクトレイ（画面の一番下）に「新しいハードウエアの検出ウィザード」アイコンが表示されていないか確認し、同様の選択をして次へ進めてください。

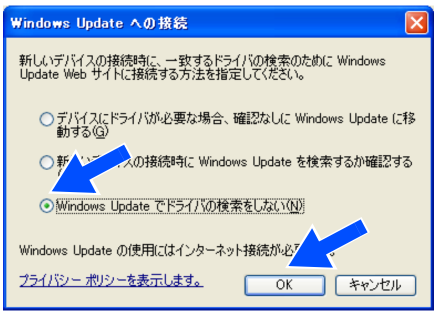


新しいハードウエアの検出ウィザード画面



アイコンになっている場合

ドライバインストールの途中で何度も「新しいハードウエアの検出ウィザード」画面が表示され、作業を中断することがあります。
これを避けるためにはスタートメニューから［コントロールパネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［システム］をクリックし、［ハードウェア］タブ画面の［Windows Update(W)］ボタンをクリックします。図の画面が表示されたら［Windows Update でドライバの検索をしない (N)］に設定しておいてください。
ドライバのインストール後は設定を「新しいデバイスの接続時に Windows Update を検索するか確認する (A)」に戻してください。



Windows Update への接続設定画面

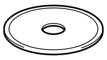
CP-B300F ソフトウェアをインストールします

ドライバのインストールが完了していることを確認してください。
（ドライバのインストールが完了していない方は、17 ページに戻ってください。）

本機のスキャンボタン機能を使用したい場合は、以下のソフトをインストールする必要があります。

・Presto!® PageManager®（スキャナソフトウェア）
・Brother OCR（光学文字認識ソフトウェア）

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに再度セットします。



画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「Setup.exe」をダブルクリックして画面を表示させてください。

2「インストール」をクリックします。



3「CP-B300F ソフトウェア」をクリックします。
画面の指示に従ってインストールします。



OK! ソフトウェアのインストールは完了しました。

■ネットワーク管理者の方へ

プリンタをネットワーク上で使用する場合について記載してあります。
ネットワーク管理者は以下の手順でプリンタの設定を行ってください。

ネットワーク設定説明書の内容

Windows®

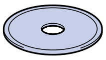


すべての OS	ネットワークボード設定	基本編 7 章	操作パネルで設定する
		特殊設定編 8 章	ネットワークボード設定
	ウェブブラウザ設定	基本編 6 章	ウェブブラウザで管理する
	トラブルシューティング	特殊設定編 11 章	トラブルシューティング
Windows® 95/98/98SE/Me	TCP/IP ピアツーピア	基本編 2 章	Windows® 環境で TCP/IP ピアツーピア印刷する
	TCP/IP ピアツーピア LPR	基本編 2 章	LPR（BLP）で印刷する
	TCP/IP ピアツーピア NetBIOS	基本編 2 章	NetBIOS で印刷する
	Netware	特殊設定編 9 章	Novell Netware で印刷する
	インターネット印刷	基本編 3 章	インターネット印刷する
	ネットワークファクス	基本編 4 章	ネットワークファクス機能を使う
	ネットワークスキャン	基本編 5 章	ネットワークスキャン機能を使う
Windows NT®	TCP/IP ピアツーピア	基本編 2 章	Windows® 環境で TCP/IP ピアツーピア印刷する
	TCP/IP ピアツーピア LPR	基本編 2 章	LPR（Standard TCP/IP）で印刷する
	TCP/IP ピアツーピア NetBIOS	基本編 2 章	NetBIOS で印刷する
	Netware	特殊設定編 9 章	Novell Netware で印刷する
	DLC	特殊設定編 10 章	DLC で印刷する
	インターネット印刷	基本編 3 章	インターネット印刷する
	ネットワークファクス	基本編 4 章	ネットワークファクス機能を使う
	ネットワークスキャン	基本編 5 章	ネットワークスキャン機能を使う
Windows® 2000/XP	TCP/IP ピアツーピア	基本編 2 章	Windows® 環境で TCP/IP ピアツーピア印刷する
	TCP/IP ピアツーピア LPR	基本編 2 章	LPR（Standard TCP/IP）で印刷する
	TCP/IP ピアツーピア NetBIOS	基本編 2 章	NetBIOS で印刷する
	Netware	特殊設定編 9 章	Novell Netware で印刷する
	インターネット印刷	基本編 3 章	インターネット印刷する
	ネットワークファクス	基本編 4 章	ネットワークファクス機能を使う
	ネットワークスキャン	基本編 5 章	ネットワークスキャン機能を使う

カシオネットワークユーティリティ「BRAdmin Professional」をインストールする(Windows® 専用)

BRAdmin Professional は、ネットワークプリンタおよび構内通信ネットワーク (LAN) 環境で動作するネットワーク多機能装置など、ネットワークに接続された装置の管理を行います。
BRAdmin Professional は、SNMP(簡易ネットワーク管理プロトコル) 対応であれば他社製品の管理もできます。
BRAdmin Professional の詳細は、ネットワーク設定説明書をご覧ください。

1 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
自動的に初期画面が現れます。画面の指示に従って操作してください。



2 メイン画面から「インストール」をクリックします。



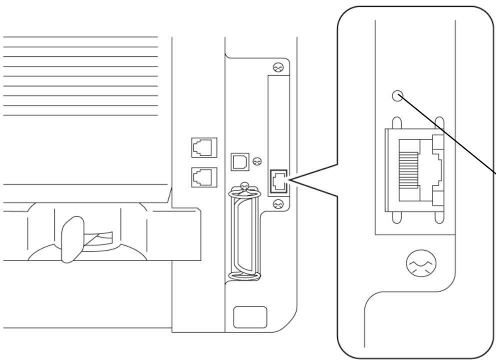
3 「ネットワーク管理用ソフトウェア」をクリックします。



4 BRAdmin Professional をクリックします。



ネットワーク設定ページの印刷



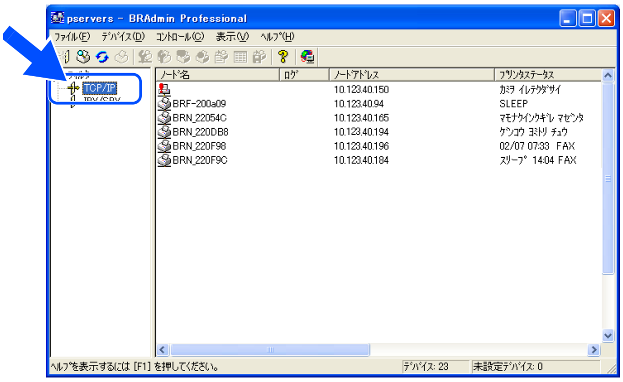
テストスイッチ

・テストスイッチを短い時間押すとネットワーク設定ページを印刷します。

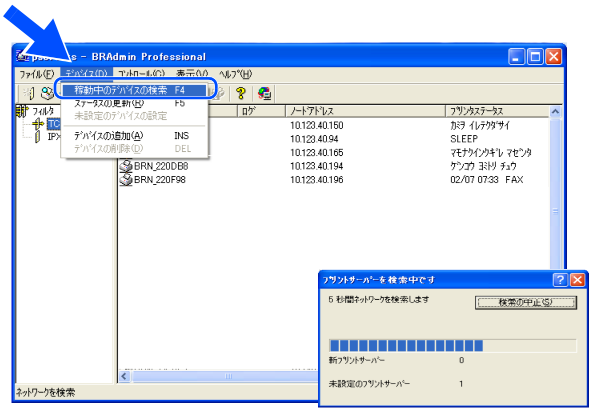
・テストスイッチを 5 秒以上押し続けるとネットワーク設定値がお買い上げ時の設定に戻ります。

BRAdmin Professional を使って IP アドレス、サブネットマスクおよびゲートウェイを設定する（Windows® 専用）

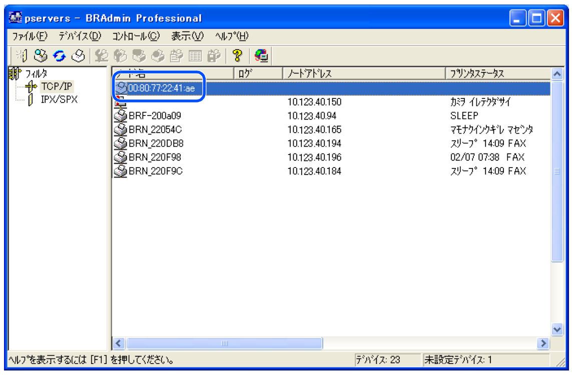
1 BRAdmin Professional を起動して、[TCP/IP] を選びます。



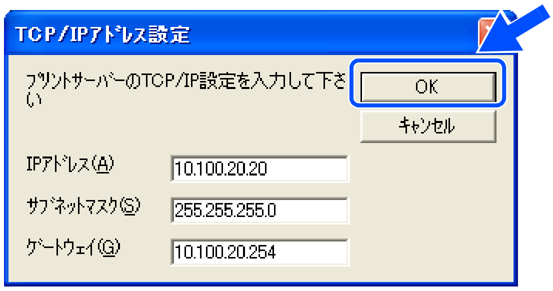
2 [デバイス] メニューから [稼働中のデバイスの検索] をクリックします。
BRAdmin Professional が新しいデバイスを自動的に検索します。



3 新しいデバイスをダブルクリックします。



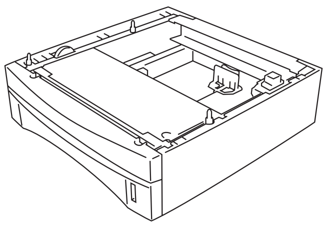
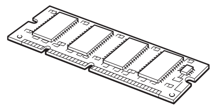
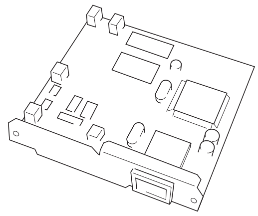
4 [IP アドレス][サブネットマスク][ゲートウェイ] を入力します。
[OK] をクリックします。



5 アドレス情報がプリンタに保存されました。

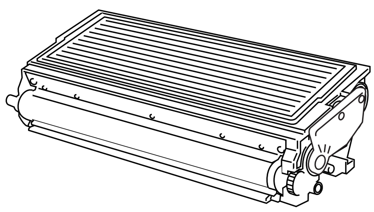
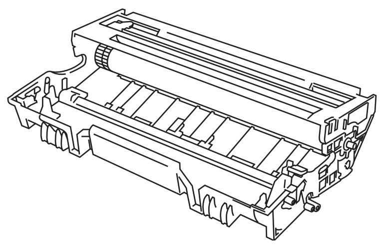
オプション

本機には以下のオプションがあります。オプションを装着することで本機の機能をさらに拡張してお使いいただけます。
詳しくは取扱説明書（ファクス＆コピー編）第 9 章を参照してください。

拡張ペーパフィーダ	DIMM メモリ	LAN I/F ボード
CP-B3CPF		CP-LA300
		
250 枚まで記録紙をセットできます。	市販の増設メモリ (100-pin DIMM) を取り付けることにより、メモリを拡張することができます。 対応可能なメモリの型番等につきましては、取扱説明書（ファクス＆コピー編）第 9 章をご覧ください。	本機の設定を、パソコンから行えるようになり、インターネットファクス、ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタ等の様々な機能を利用できるようになります。

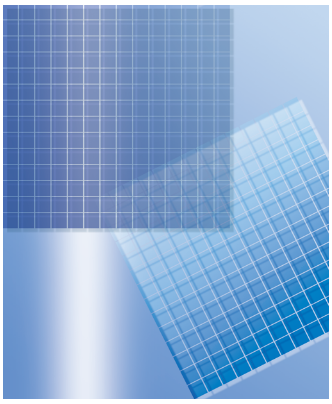
消耗品

詳しくは取扱説明書（ファクス＆コピー編）第 10 章を参照してください。

トナーカートリッジ	ドラムユニット
CP-B3TS	CP-B3DS
	
印刷可能枚数 約 6,500 枚（A4 サイズ / 印刷密度 5% 時）	印刷可能枚数 約 20,000 枚（A4 サイズ / 印刷密度 5% 時）

SPEEDIA CP-B300F
かんたん設置ガイド
2004 年 10 月 20 日　第 2 版発行
カシオ計算機株式会社　カシオ電子工業株式会社

CASIO



SPEEDIA

CP-B300F

かんたん設置ガイド

カ シ オ 計 算 機 株 式 会 社
カ シ オ 電 子 工 業 株 式 会 社

T-819PA
MA0410-B